

いつまで続くかわからないサイトだが、ここに記して歴史に残しておきたい。

<http://www.welovetheiraqiinformationminister.com>

「イラクの情報大臣大好きドット・コム」というわけだ。崩壊したイラク・フセイン政権の情報相を務めていたムハンマド・サイード・サッハーフ (Muhammad Sa'īd al-Ṣaḥḥāf) を「褒め殺し」的に応援して風刺するサイトである (日本の報道では「サハフ」と表記されていた)。イギリス人でアラスカ在住の元環境保護活動家・作家が立ち上げたものだという。アメリカ軍が多用した複雑で高度な情報戦略 (それがどの程度功を奏したかは不明だが) に対して、昔ながらの大本営発表方式で毅然と対抗したサッハーフは、実際の戦況と彼の発言との間に齟齬が目立つようになるにつれて、全世界的にコミカルなメディア・シンボルと化していった。ロンドンのアラビア語紙『ハヤート』によれば、一秒あたり4000件、8時間で1億1520万件の訪問者があったためネットワークに支障を来し、一時休止を余儀なくされたほどだったという (Al-Ḥayāt, 13 April 2003)。サッハーフ自身は有能で視野の広い人物とされている。積極的に圧政に荷担したというよりは、不本意な役を演じざるを得なかったという側面もあるだろう。しかし彼の役割と運命はアラブ知識人全体にとって他人事ではない。注意を怠れば対象地域の「広報官」になってしまいかねない地域研究者にとっても、我が身を振り返る機会となるべきものだ。

エジプトの為替レート

土屋一樹

エジプトで変動相場制が導入されてそろそろ半年ですが、この間の為替レートの推移をみたのが下のグラフです。1月29日の変動相場制への移行日に約17%減値し、当時の闇レートであったLE5.36/US\$と同水準までジャンプしました。その後急激な変化はないものの、エジプトポンドの下落傾向は続き、4月上旬以降はLE 6 /US\$ 付近での取引となっています。ということは手元のエジプトポンドはこの半年で約3割、過去3年で見ると約6割価値が下がったこととなります。また変動制移行後しばらくは消えていた闇市場もその後復活しているようで、現在のレートもまだ需給のバランスを反映したものというわけではないようです。

